

論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 2903 号	氏名	榎田 めぐみ
論文審査担当者	主査 田中 一正 副査 小口 江美子 副査 三村 洋美		
(論文審査の要旨)			
<p>本論文は、医療系 4 学部（医・歯・薬・保健医療（看護・理学・作業））を有する大学における多職種連携教育として行われている PBL チュートリアル（PBL）を用いた教育法の有用性を検討し、報告したものである。</p> <p>本研究では、チーム医療学習プログラムとして体系的・段階的に行われている PBL 学習のうち、チーム医療で患者に目を向けることをテーマにした学部混成の PBL 終了後のポートフォリオの記述内容、アンケートの結果を用いて教育法の有用性について検討している。その結果、学生たちは多学部で協同して取り組むことが患者の多角的理解に繋がり、患者の要求に沿った質の高い医療を提供でき、そのためには多学部間での情報共有や円滑なコミュニケーションが重要であることを学んでいた。これらのことから、学位申請者は学部連携 PBL はチーム医療の模擬体験にとどまらず、将来の多職種連携に繋がる医療人の育成に寄与している教育方法として有用であると結論付けている。</p> <p>本論文は患者の状態や要求に的確に沿った医療を実施するための多職種連携実践を遂行できる医療人育成のために連携教育法が有用であることを示していることから、学術的価値が高く、学位論文に値すると判断した。</p>			
論文題名：臨床シナリオを持ちいた学部連携 PBL チュートリアルの多職種連携教育における有用性の検討			
掲載雑誌名：保健医療福祉連携、第 8 巻、1 号、2～11、2015			

(主査が記載、500 字以内)